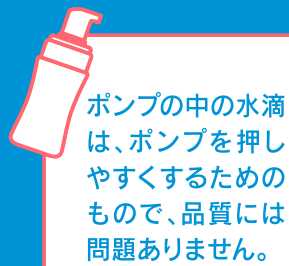


フレッシュライト
泡タイプカラー

使用説明書 (手袋付き)

- ご使用の際は必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
- ヘアカラーはまれに重いアレルギー反応をおこすことがあります。
- ご使用の際は毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。
- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、絶対に使用しないでください。

- 1箱全量でセミロング約1回分です。



使用方法、その他についてご質問がありましたら、お客様相談室まで、お問い合わせください。

お客様相談室

☎03-5783-4271

受付:土・日・祝日を除く
10:00~12:00/13:00~17:00

ヘンケルジャパン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8

使用上のご注意

1. 次の方は使用しないでください

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方。
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ、めまい等)を経験したことのある方。
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方。
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)。
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方。
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方。
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)。

2. 使用前のご注意

- ① 染毛の2日前(48時間前)には次の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回行います。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行ってください。
- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激等を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマメントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

3. 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気のよいところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗や皮脂等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。薬剤がついたときは、直ちに水で洗い落としてください。
- ⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入ったときは絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。
- ⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合には、直ちに薬剤をよく洗い流し、すぐに医師の診療を受けてください。
- ⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

4. 取り扱い上のご注意

- ① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。
- ② 混合した薬剤は保存しないでください。ガスが発生して容器が破裂するおそれがあり危険です。

5. 保管上のご注意

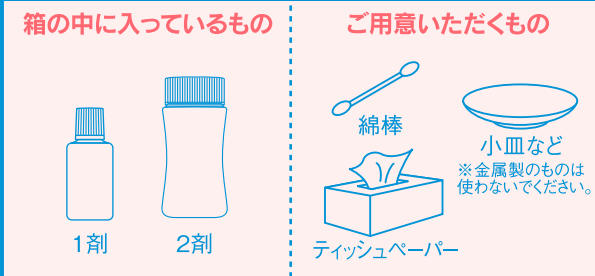
- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光を避けて保管してください。

ヘアカラーによるアレルギーのリスクについて

ヘアカラーによる「かぶれ」は、頭・髪の生え際・顔・首筋などに、かゆみ・はれ・赤み・ブツブツなどの症状がでることをいい、かゆみしか感じないこともあります。かぶれと気づかずに、又はかぶれの症状が軽いために使用を繰り返したり、症状が治まった後に再使用したりすると、次第に症状が重くなり、まれに「アナフィラキシー」という重篤なアレルギー反応(全身じんま疹、呼吸困難など)等が突然起こることがあり危険です。このようなかぶれの症状を経験された方は、絶対に使用しないでください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)時に必要なもの



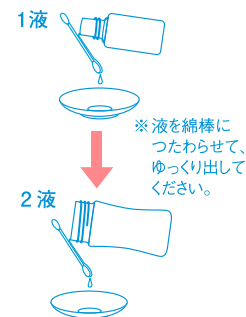
染毛の2日前(48時間前)には、毎回必ず行ってください。

皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は、アレルギーの有無をチェックするための簡単なテストです。ある食品、化粧品、医薬品などでアレルギー反応をおこす人がいるように、ヘアカラーでアレルギー反応をおこす人がまれにいます。ヘアカラーのアレルギー反応は、初回の染毛時のテストで異常が認められなくても、何回目かに初めて異常が認められる場合もあります。染毛のたびに毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。

1. テスト液をつくります。

テスト液は1剤と2剤を1:2の割合で混ぜてつくります。

- (1) 1剤ボトルのキャップをはずし、綿棒を使ってごく少量を小皿に出します。
- (2) 2剤のキャップをはずし、新しい綿棒を使って小皿の上に1剤の2倍量の2剤を加えます。
- (3) 新しい綿棒で十分に混合し、テスト液をつくります。



2. テスト液ができましたら、腕の内側に10円硬貨大にうすく塗り、自然に乾燥させます。

- テスト液が乾燥するまで、衣服につかないようにご注意ください。30分くらい放置しても乾かない場合はテスト液のつけすぎですから、余分なテスト液をティッシュペーパーなどで軽く拭き取ってください。
- テストをした当日は、なるべく入浴しないでください。やむをえず入浴する場合は、テスト部位をぬらさないでください。



3. そのまま触れずに48時間放置します(時間を必ず守ってください)。

テスト液を塗ったところは、絆創膏等で覆わないでください。

4. テスト部位の観察はテスト液塗布後30分位および48時間後の2回は必ず行ってください。

- そのとき、塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水疱、刺激等の皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。
- 途中、48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト液を洗い落とし、染毛しないでください。
- かぶれた部位などは手などでこすらず、すぐに皮膚科専門医の診療を受けてください。

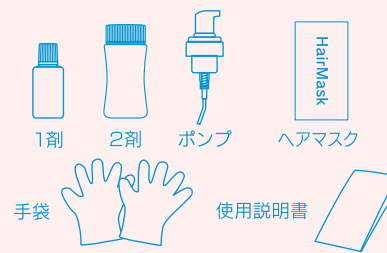
5. 48時間たって異常がなければ、すぐに染毛してください。

※日をおくと体質が変わることがあります。皮膚アレルギー試験(パッチテスト)は毎回必ず染める前に行ってください。

ご使用前の準備

必要なものの準備

箱の中に入っているもの



ご用意いただくもの

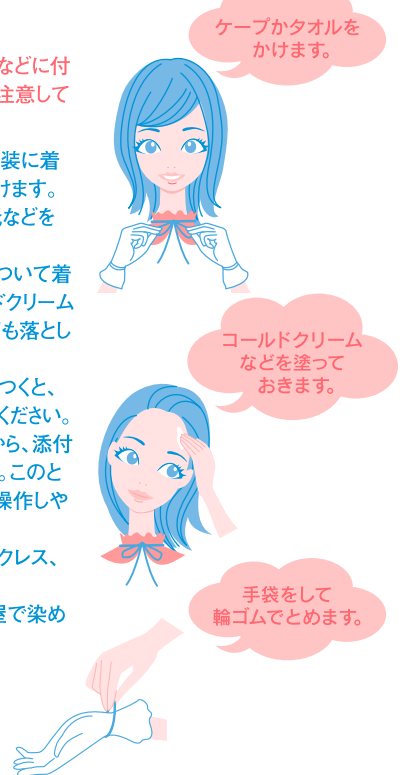


髪の状態

- 前洗いの必要はありません。ただし髪の汚れのひどいとき、カラスプレーなどの一時染毛料や多量の整髪料などをご使用のときは、前日に洗髪しておいてください。

身じたく

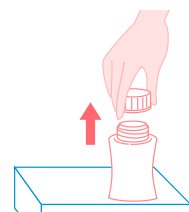
- ※薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。
- 汚れてもかまわない前あきの服装に着替え、首にケープかタオルをかけます。
- 床などが汚れないように新聞紙などを重ねて敷きます。
- 生えざわや耳や首に混合液がついて着色するのを防ぐために、コールドクリームなどを塗っておきますと、ついても落としやすく便利です。ただし、コールドクリームが髪につくと、染まりにくくなりますのでご注意ください。
- 爪も髪と同じように染まりますから、添付の手袋をはめてお使いください。このとき手首を輪ゴムでとめておくとお操作しやすくなります。
- メガネ、イヤリング、ピアス、ネックレス、指輪は、はずしてください。
- 寒いときは、なるべく暖かい部屋で染めてください。



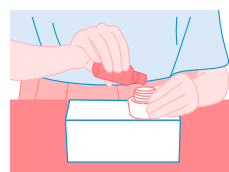
準備ができたら裏面へ▶

1 使用直前に混合液をつくります。

① 箱の裏側のミシン目にそって穴をあけ、2剤容器を固定し、平キャップをあげます。



② 2剤に1剤を全量入れます。



※ ポンプの中の水滴は、ポンプを押しやすくするためのもので、品質には問題ありません。

③ ポンプをしめます。

※ 混ぜたり傾けすぎないでください。泡にならず、たれ落ちの原因になります。



⚠️ 混合した後のご注意

※ 混合液を密栓したまま放置しないでください。ガスが発生し容器が破裂するおそれがあり危険です。
※ 混合液ができましたらすぐに髪に塗りはじめてください。そのまま放置しておくと、ガスが発生し容器からあふれ出るおそれがあります。

2 容器を箱の裏側に固定してポンプを押し、手袋をした手に泡を出します。

① 手袋をします。

② 容器を箱の裏側に固定してポンプを押し、手袋をした手に泡を出します。

※ ポンプは最後までしっかりと押しください。押しが弱いとゆるい泡になり、たれ落ちの原因になります。



※ 手に泡を出しすぎないでください。手の平におさまるぐらいが適量です。



POINT 手に持っても使用できます。

※ 泡が出にくく、ゆるい泡が出ることがありますので容器は傾けすぎないでください。

※ 容器から直接髪に泡を出さないでください。泡が目に入ったり、周囲に飛び散ったりするおそれがあります。



3 乾いた髪全体にたっぷり泡をつけ、もみこみます。 ●目のあらいクシで髪をよくとかしてほつれをのぞき、クシ通りをよくしておきます。 ●乾いた髪にご使用ください。 ※初めてヘアカラーをする方も、すでにヘアカラーをしている方も同じ手順で染めてください。

① 髪を分けながら根元から毛先までたっぷり泡をつけていきます。

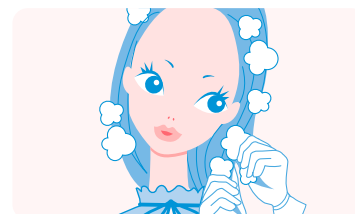
① まずは分け目や頭頂部からスタート
※ 明るくなりやすい生えぎわ、前髪の根元部分は、泡のつけすぎに注意しましょう。



② 髪を分けながら、なじませていきます。



③ 髪が長い場合は、握るようにしながら毛先までなじませてください。



⚠️ 染める時のご注意

※ 髪がからまないようにご注意ください。
※ 強くこすりこんだり、激しくもみこんだりしないでください。
※ 泡(混合液)が顔や皮膚についたときは、すぐに水で湿らせたティッシュペーパーなどでふきとってください。時間がたつほど、とれにくくなります。
※ 金属製のヘアピンやクシなどは、熱をもち髪を傷めることがありますので、使用しないでください。
※ 泡(混合液)が目に入らないよう、特に注意してください。
※ 使い残した混合液は、再使用できませんので必ずすててください。

② 髪全体が泡に包まれるようにやさしくもみこみます。

① 髪全体が泡で包まれるようにやさしくもみこみます。



② 泡のつけ残しがないように最後にたっぷりつけ足します。

使用量が少ないと十分に染まりません。セミロングヘア(肩につく程度)の方は全量、ショートヘアの方は2/3程度が使用量の目安です。



POINT サイドのはえぎわも、円を描くようにしっかりなじませます。

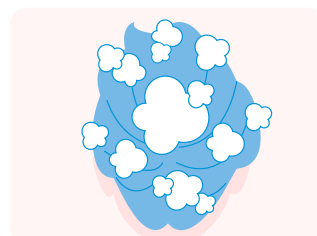


POINT 髪を持ち上げる 目の後ろ・えり足は髪を持ち上げるようにしてしっかりつけます。

※ えり足、首の後ろ、耳周りは染まりにくいのでしっかりつけてください。
※ 泡をつけすぎると、たれることがあるので、少しずつつけるよう気をつけてください。

③ 約20～30分放置します。

時々、ティッシュペーパーなどで部分的に髪に泡(混合液)をふきとり、髪色をチェックしながら放置します。
※ 仕上がりの髪色は、ご使用前の髪色、髪の傷み具合、髪質、室内温度、放置時間により異なります。泡(混合液)がたれそうになったら、手で泡(混合液)を髪にのばし、もみこみます。



次のような方は長めに放置することをおすすめします。
● 使用前の髪色が暗めの方
● 硬い髪・太い髪などの染まりにくい髪質の方
※ 放置中に泡が消えることがありますが、仕上がりに影響ありません。

4 洗い流し、よく乾かします。

ご希望の髪色になりましたら、少しずつぬるま湯で十分にすすぎ、シャンプーした後、フレッシュライトのヘアマスクなどで仕上げます。汚れてもかまわないタオルでふいてください。



POINT すすぎは、やさしく髪をほぐすようにしながらもみこみます。十分にすすぐためにもシャンプーはていねいに2回してください。

⚠️ 洗髪・乾かす時のご注意

※ 洗髪時の洗い液が目に入らないよう、特にご注意ください。
※ 目に入ったときは、すぐに水またはぬるま湯でよく洗い、眼科医の診療を受けてください。自分の判断で目薬を使用しないでください。
※ 髪は十分に乾かしてください。半乾きの状態では枕カバー、衣服等に色がつくことがあります。

⚠️ 使用後のご注意

※ 再度ブリーチやヘアカラー(ヘアマニキュアを除く)を使用される場合は、髪や地肌への負担を考え1週間以上の間隔をおいてからご使用ください。
※ 次のような場合には、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
・髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など)
・育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。

※ 1剤容器、2剤容器とポンプは、すぐ水などで軽くすすぎ、混合液を洗い流してから、ビニール袋などで包んで、各地域の指定の分別に合わせて、ごみに出してください。

約10分

20分～30分